

おさめがわ 議会だより

No
132

平成25年5月

青生野小学校入学式

3月定例会

- 平成25年度予算が決定… 2
- 議案調査、代表質疑 …… 4
- 補正予算 …… 5
- 村の考えを問う(一般質問) … 8～12
- 臨時議会 第2回 …… 12
- みなさまの声 …… 14

1800万円

前年度比
4.5%の増



大楽 勝弘村長

3月定例会は、3月7日から13日までの7日間の会期で開かれた。

今定例会では、平成25年度各会計9件の当初予算案をはじめ、専決処分報告1件、専決処分の承認2件、24年度補正予算案8件、条例の一部改正・制定が19件、辺地計画の変更等5件の43議案と議員発議の意見書1件が審議され、全ての議案を原案のとおり可決した。

また、一般質問では、4名の議員が登壇し村政全般について質した。

原発事故、放射能対策を優先した予算

9会計の平成25年度予算総額は、42億112万1千円、前年度比10

06万9千円(2.4%)の増となっている。

「左表のとおり」

一般会計は、29億1800万円で、前年度比1250万円(4.5%)の増額予算となった。新たな事業としては、直売所・農産物加工施設管理運営事業(保冷倉庫建築工事)、除染対策事業の実施。また、定住人口確保のため、定住促進住宅「伏木田地内」新築工事などが主なもの。

財源では、国庫支出金の増(14.7%)、県支出金の増(15.5%)、復興基金の繰入金(106%)の措置を講じ、第3次振興計画の施策を進める予算編成となっている。

主な事業と予算

○生活バス路線運行費補助金(堀・鮫川線、鮫川・石川線の2路線) 800万円

○通学定期券補助事業(あおぞら号含む3路線の半額補助) 100万円

○太陽光発電設備整備補助(上限5kW/10基) 240万円

○村民保養施設運営委託料(社会福祉協議会へ委託) 1000万円

○在宅高齢者お助け事業委託料 176万1千円

○乳幼児紙おむつ給付事業 282万円

○出産祝金支給事業(二人につき5万円の商品券を支給) 125万円

○児童手当給付事業 6300万円

○予防接種事業(子宮頸がん・※ヒブ、肺炎球菌など) 869万2千円

○子ども医療費助成事業(18歳まで無料化) 1294万円

○道路敷不法投棄廃棄物回収作業委託料 226万8千円

※ヒブとはHib(インフルエンザ菌b型)は小児の細菌性髄膜炎、口頭蓋炎、菌血症といった感染症を引き起こす。

○合併浄化槽設置整備事業補助金(15基、単独槽撤去10基) 711万円

○除染対策事業(住宅除染業務、仮設焼却炉監視委員会報償、線量低減補助) 7170万円

○緊急雇用創出基金事業(公共施設周辺除草、農産物モニタリング等) 2453万円

○中山間地域等直接支払制度事業 1億707万1千円

○直売所・農産物加工施設管理運営事業(保冷倉庫建築工事等) 4769万円

○大豆振興対策事業(大豆生産奨励補助金ほか) 663万9千円

○農用地除染対策事業(農用地除染委託料等) 3279万2千円

○米の全袋検査推進事業 1177万6千円

○畜産振興事業・畜産ヘルパー事業 1031万5千円

○鹿角平観光牧場管理運営事業 1003万1千円

○村道維持管理事業 1556万円

○村道新設改良事業 5700万円

○定住促進住宅(伏木田地内)整備事業 8100万円

○土木施設災害復旧事業(村道、6力所) 6200万1千円



米の全袋検査の様子

まめな暮らしを生かした村、人の集まる活気ある村、みんなが安心して

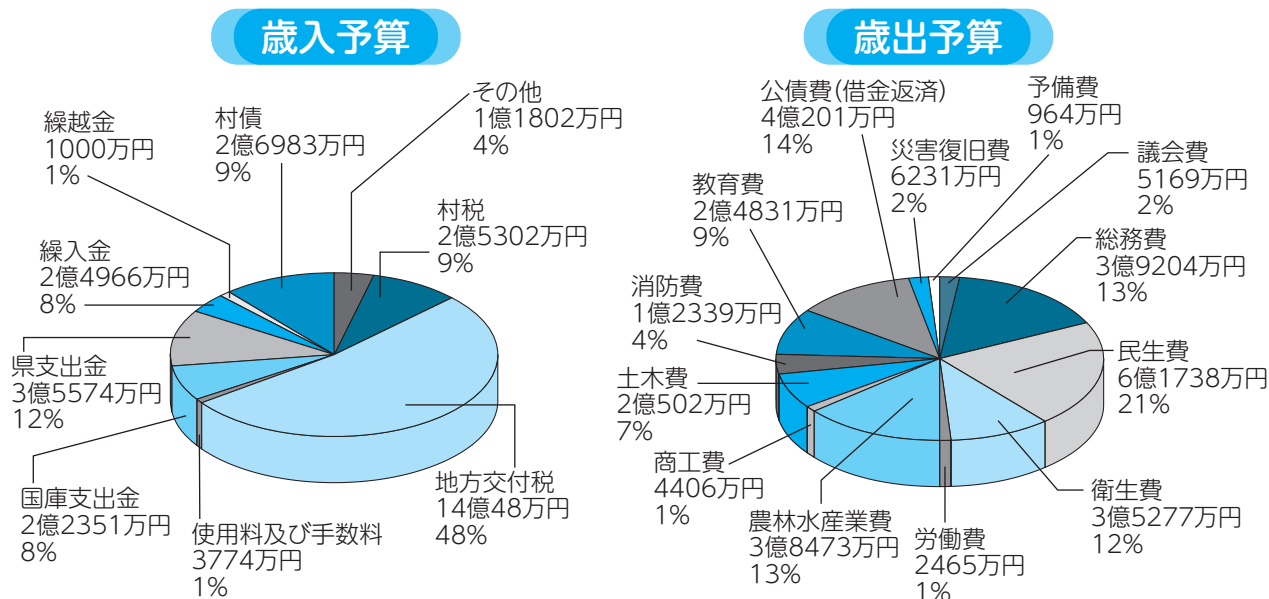
平成25年度
予算が決定

一般会計29億

■ 新年度の予算額

会 計 別			25年度予算額	24年度予算額	伸び率
一 般 会 計			29億1800万円	27億9300万円	4.5%
特 別 会 計	国保	事業勘定	4億7034万1千円	4億7720万円	△1.4%
		直診勘定	7340万円	7930万円	△7.4%
	簡 易 水 道		1億1175万4千円	1億1672万2千円	△4.3%
	村 営 バ ス		712万円3千円	700万円6千円	1.7%
	集 落 排 水		3054万円9千円	3079万円4千円	△0.8%
	介 護 保 険		4億2361万円	4億2775万9千円	△1.0%
	交 流 施 設		1369万円	1375万円	△0.4%
	学 校 給 食		1億1808万7千円	1億2047万4千円	△2.0%
	後 期 高 齢 者		3456万円7千円	3504万円7千円	△1.4%
	小 計		12億8312万1千円	13億805万2千円	△1.9%
合 計			42億112万1千円	41億105万2千円	2.4%

■ 一般会計予算の内訳



議 案 調 査

議会開会中に各常任委員会は、議案の内容について調査を行い、詳細について各課長などから聞き取り検討調査した。



産業厚生常任委員会

- 調査内容(新年度予算)**
- 障害者自立支援給付費等扶助費 ● 村民保養施設さざり荘運営事業
 - 高齢者虐待対策事業
 - 内容 ● 大豆生産奨励補助金 ● 保冷倉庫建築費
 - 森林経営計画作成促進補助 ● 堆肥センター運営指定管理料 ● 住宅除染業務 ● 日陰林解消事業 ● 村営住宅管理事業



総務文教常任委員会

- 調査内容(新年度予算)**
- 振興計画アンケート調査 ● 国有林野買収測量業務 ● 観光案内CM作成業務内訳 ● 太陽光発電システム工事 ● 英語力向上対策推進事業宿泊の内容 ● 緊急雇用創出基金業務 ● 辺地共聴施設整備事業内訳 ● 鮫川の食PR活動バス借り上げ料 ● 緑の協力隊隊員住宅使用料

代表質疑(要旨)

平成25年度

一般会計予算について

総務文教常任委員会



宗田 雅之 議員

問 次の3点について伺う。

①生活バス路線運行費800万の補助金が計上されているが、今後人口減少が予想される中で、事業者の路線からの撤退が考えられるのではないか。

②通学定期券補助事業費100万円が計上されているが、子供を持つ親にとっては、財政的負担を軽減させるため

めには大変有意義な施策だと思えます。一歩踏み込んだ施策として、現在の定期券2分の1の補助からさらなる補助金の増額の考えがないか。

③緊急雇用創出基金事業、農業生産基盤強化事業644万円計上されているが、除染による安全・安心の食づくりは緊急課題であると思うが、新たな人材の発掘と教育により、農業生産の基盤を強化すべきと考えるが、村長の考えは。

答(村長)

①村が生活路線維持対策のため福島交通株式会社に對し、運賃補てん路線として宝木經由の

鮫川線に300万円及び代替路線としての塙・鮫川線に500万円の補助する予定である。今後とも福島交通に對し経営改善をお願いすると共に、石川町とも協議しながら適正な交通体系について検討したい。

②通学定期券補助制度は多くの方に路線バスを利用してもらうことにより、生活路線バスの維持、確保を図ることを主眼としているので、これ以上の増額は考えていない。

③計上した644万円は、風評被害を受けている農産物の安全性とおいしさを県内外にアピールするため、販売物のモニタリング結果の揭示と消費者との対話による販売を行い、一人でも多くの理解を求める活動を行い、新規雇用の獲得と市場の開拓を図るため、手・まめ・館に委託するものである。これにより、生産者の生産意欲の向上と、雇用の場を創る事業であり、理解を求める。

平成25年度

一般会計予算について

産業厚生常任委員会



坂本 忠雄 議員

問 次の2点について伺う。

- ①農産物備蓄倉庫建築工事3556万3千円の工事内容と設置場所について問う。
- ②公有財産購入費の国有林野土地購入費775万円の購入目的と効果について問う。

答(村長)

①農産物備蓄倉庫は、鉄骨平屋建て、180平方メートルで内訳として、低温倉庫部分が80平方メートル、常温倉庫部分が100平方メートル

を計画している。建設場所は、比較的直売所に近い、宿ノ入地内の修明高校鮫川校下の敷地に検討している。

②公有財産購入については、放射能汚染で放牧も採草も出来ない土地に関し青生野協業和牛組合と森林管理署から村に相談があり、村で購入し利用してもらえないかという意向があった。広大な面積を利用した太陽光発電による土地の利用と雇用促進により地域の活性化を図る。

問(再) 修明高校鮫川校の駐車場が無くても大丈夫か。また、盛り土ではないか。

答(村長)

再検討する。

補正予算

農産物販売強化事業に

一般会計

191万81千円増額可決

主な歳入補正

○ 地方交付税(震災復興特別交付税)
6821万円追加

○ 国庫支出金
・ 障害者保護費負担金(障害者自立支援給付費)
102万7千円追加

・ 道路橋りょう費補助金(社会資本整備総合交付金)
1040万円追加

・ 消防費補助金(全国瞬時警報システム多様化推進事業費)
2289万円追加

○ 県支出金
・ 林業費補助金(森林病害虫等防除事業費)
210万8千円追加

・ 東日本大震災復興基金繰入金(復興支援交付金分)
1601万9千円追加

・ 東日本大震災復興基金繰入金(ブランド・イメージ回復交付金分)
480万円

補正予算の質疑概要

問 7事業に対して約3億円以上の繰越があるが繰越の説明を求めらる。

(前田武久議員)

答(総務課長)

太陽光発電設備事業は、太陽光パネルの需要が多かったため年度内納期が困難なため5月31日まで工期を伸ばす。

主な歳出補正

○ 教育施設整備基金積立金
1100万円追加

○ 農産物販売強化事業費
191万8千円追加

○ 村道路面性状調査業務
1600万円追加

○ 全国瞬時警報システム多様化推進事業統合型自動起動装置整備工事
2289万円追加

答(企画調整課長)

辺地共聴施設整備事業は国の決定が遅れたことによる繰越である。

答(農林課長)

放射能災害対策費は、塩化カリウム配布で4月からでは間に合わないのので3月に契約し繰越しする。

補正予算(7会計)

会 計 別			補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計			4074万2千円減	36億8270万9千円
特 別 会 計	国保	事業勘定	899万6千円増	4億9915万5千円
		直診勘定	644万7千円減	7541万円
	簡 易 水 道		1250万5千円減	1億664万円
	村 営 バ ス		405万1千円増	1146万8千円
	介 護 保 険		1192万2千円減	4億2593万2千円
	学 校 給 食		100万6千円減	1億2185万1千円
	後 期 高 齢 者		123万円減	3397万9千円
合 計			6080万5千円減	49億5714万4千円

答(地域整備課長) 村道路面性調査事業は26年3月までの予定である。

答(総務課長) 林野火災活動拠点広場整備事業は、1月に決定したので繰越事業として実施する。

全国瞬時警報システム多様化推進事業は、国

の第1次予算で措置されるもので繰越事業で実施する。

答(教育課長) 西山村民体育館耐震工事は、緊急防災事業に対応して繰越事業で実施する。

問 屋内ゲートボール場の2000万円の減額補正、広畑団地の1200万円の減額補正について。

(星 一彌議員)

答(村長) 屋内ゲートボール場の解体工事請差であるが杭の大きさが実際掘つてみたら違っていた。

広畑団地は一般競争入札で予定価格の請差分である。

※専決処分の報告

▼工事請負契約の変更・社会教育施設災害復旧事業・鮫川村図書館災害復旧工事。契約額5691万円を5872万円9650円に変更する。

専決処分の承認

▼工事請負契約の変更・防災行政デジタル無線整備工事。契約額5億4600万円を5億6527万3800円に変更する。

▼一般会計補正予算(第

7号)農林水産業補正前37億1945万1千円を37億2345万1千円に増額する。放射性物質を吸収する塩化カリウムを農家に配布する事業。

※専決処分とは
村長が緊急のため議会を招集する時間的余裕が無い時等に、議決すべき事柄を処分すること。この場合は、次の議会に報告し、議会の承認を求める手続きが必要となる。

条例の一部改正など可決

▼移動通信用鉄塔施設設置及び管理に関する条例の一部改正
「荻ノ沢無線局・青生野無線局」を追加する。

税条例の一部改正

地方税法の改正に準じて村税に関する不利益処分について鮫川村行政手続条例の規定に基づきその理由を示す。

▼災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

災害弔慰金の支給対象となる遺族の範囲に兄弟姉妹を追加。

▼道路占用料徴収条例の一部改正
占用許可対象物件に太陽光発電設備等を追加。占用料を県に準じて改定。

▼村営住宅条例の一部改正
広畑団地建て替え事業による戸数の変更。

▼村営住宅管理条例の一部改正
国の公営住宅法の改正により「収入基準」の金額を条例で規定する。敷金を2カ月分から3カ月分に改正。

▼定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
保証人を連帯保証人に改正。

▼職員の給与の特例に関する条例
財政事情から、管理職の特別調整額20%削減

と通勤手当支給額を上限で片道16kmまでとする。

▼新型インフルエンザ等対策本部条例
新型インフルエンザ等発生時に対応するため、国県に準じて対策本部を設置。

▼簡易水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例
水道布設工事の監督技術者などの配置基準、資格基準などを条例で規定。

▼介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に関わる入所定員等に関する条例
指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に関する基準のうち指定対象となる施設およびその入所定員等に係る基準等についての条例化が規定されたため制定する。

例で規定する。

▼介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サ―ビスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例

指定地域密着型サ―ビスに従事する従業者の員数に関する基準などについての条例化が規定されたため制定する。

▼介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サ―ビスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サ―ビスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例

指定地域密着型サ―ビスに従事する従業者の員数に関する基準などについての条例化が規定されたため制定する。

指定地域密着型サ―ビスに従事する従業者の員数に関する基準などについての条例化が規定されたため制定する。

指定地域密着型サ―ビスに従事する従業者の員数に関する基準などについての条例化が規定されたため制定する。

▼村道の構造の技術的基準に関する条例

村道の構造の技術的基準を条例で規定する。

▼村道に設ける道路標識の寸法に関する条例

道路標識の寸法を条例で規定する。

▼準用河川に設ける河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例

準用河川の河川管理施設のうち主要なものの構造に関する技術的基準を条例で規定する。

▼村営住宅及び共同施設の整備基準に関する条例

国土交通省令で定めるとされていた公営住宅及び共同施設の整備基準について条例で規定する。

▼防災行政無線設置条例

防災行政デジタル無線整備事業により、既存施設の拡充を行ったため、条例を制定。

▼ふるさと創生事業基金条例を廃止する条例

広畑団地建て替え事業にその基金の全額を充当し、残額がなくなつたため条例を廃止する。

その他

▼辺地に係る公共施設の総合整備計画の変更

西山地区の辺地計画に「小型動力ポンプ付き積載車1台、消防ポンプ自動車1台」を追加するもの。

▼過疎地域自立促進の変更計画

村道2路線・防災行政デジタル無線及び定住促進住宅の整備を盛り込む。

▼村道路線の認定

村道石井草遠ヶ電線から村道大根屋敷線の終点までを村道として認定。

▼字の区域の変更

大字渡瀬地内にある青生野地番の解消。

▼字の区域の変更

国土調査の成果による大字渡瀬地内にある青生野地番の土地を字越虫に編入。

議員発議・意見書の提出を可決

▼福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出

◎意見書は、内閣総理大臣、厚生労働大臣、福島県労働局長に提出した。

※繰越明許費とは

予算成立後の事由によって、年度内に支出を終わらない見込みのあるものは、あらかじめ議会の議決を経ておけば翌年度に繰り越して使用することができる。

平成25年度への繰越事業（※繰越明許費） ◆3月定例会議案から掲載

予算科目	事業名	金額	予算科目	事業名	金額
総務費	太陽光発電設備整備事業 (役場庁舎太陽光パネル設置)	(千円) 40,693	消防費	林野火災活動拠点広場整備事業 (空中消火活動用広場整備)	(千円) 49,010
総務費	辺地共聴施設整備事業 (渡瀬・青生野地区デジタル化)	207,895	消防費	全国瞬時警報システム 多様化推進事業 (全国瞬時警報システム起動時に 村民に情報を自動配信)	22,890
農林水産業費	放射能災害対策事業 (塩化カリウム配布)	4,000	教育費	西山村民体育館耐震補強事業	33,940
土木費	村道路面性状調査事業 (3路線の路面の陥没等調査)	16,001			

問

除染と風評対策について問う

答

不安解消や風評被害の払拭には除染と減容化が必要

宗田 雅之 議員



風評被害にも負けずに販売促進を図る「手・まめ館」

質問

農産物の風評被害は絶えることがない。本村の農業の振興を図っていく上で消費者の動向を踏まえて対処していくことが重要であると考えるが。

また環境省による焼却炉実証試験を計画しましたが、この計画に周辺地域や地元の方々に反対や慎重論の声が高まっていると聞く。今後このような声に対してどのように対処していくのか。

答弁(村長)

生産者にも消費地に向くことも大切。「手・まめ館」

め館」の職員全員で近隣の直売所を研修し、反省点や実践可能なものなどを検討し、意識の向上に努めている。

焼却炉の設置について青生野地区の説明会を開催したが、放射性物質の拡散に対する不安や風評被害についての質問が多く出された。今後は「事故に備えた緊急対応マニュアル」や「仮設焼却炉監視委員会」の活動内容について、更に仮設焼却炉の安全性について丁寧に説明し、理解が得られるように努める。

再質問

農産物は売り方、熱意によってまだまだ売れる。人づくりをきちんとやり、風評被害に対応すべきではないか。

焼却炉については若者の意見を真摯に受け止めて、合意形成を図るべきではないか。

答弁(村長)

「手・まめ館」の人材は養成している。

焼却炉は住民の皆さんの思いが払拭できない限り、実証はやらない。



問 村道官沢西山線の改良をすべき

答 現地の点検と調査を行い整備する

質問

この路線は危険箇所がガードレールもなく、以前の補修工事により一部の側溝の深さが倍以上もあり蓋がない。早急な対応

問 人口減少など地域対策を問う

答 風評被害に対応できる対策を練る

質問

毎年人口が減少していく地域の中で、これらの現状を打破し、地域再生のために次の点を伺う。

①定住化を図る雇用の場が必要と考えるが。

②施設入居が難しい介護対策は。

③耕作放棄地の対策は

④街中の賑やかさの復活と若者が暮らしやすい居住環境の考えは。

⑤図書館隣の空き店舗を活用し、コンビニとコミュニティ施設を兼ねた店舗を計画している。住宅環境、商業環境の向上、充実を一体的として促進する。

答弁(村長)

①「県南地域産業活性化協議会」にも参加し、企業誘致が図られるよう努力している。

②介護が必要な高齢者が住み慣れた地域や住まいで尊厳ある自立した生活を送ることができる保健医療、福祉サービスの確保を検討する。

③国県は「耕作放棄地再生利用緊急対策事業」を実施している。施設整備、経営指導が受けられるので利用を進める。

④図書館隣の空き店舗を活用し、コンビニとコミュニティ施設を兼ねた店舗を計画している。住宅環境、商業環境の向上、充実を一体的として促進する。

改良工事は工事費を抑制して整備されており、蓋をかけるには側溝本体を交換する必要がある。

今年度村の資材置き場から220mを舗装補修工事を行うので、蓋をかける予定だ。また長坂は日陰林の伐採を予定している。

答弁(村長)

この村道は36年前に整備された路線で、当時の



星 一 彌 議員

問

村の取り組む事業と課題について その対策を伺う

答

国県の事業、村の独自の各支援事業で 対処する

質問

人口減少化社会と高齢化社会の共存をどう取り組むとしているのか。また国は福島復興予算を大規模に計上しているが、村の事業にどう取り入れ活用を考えているのか。

答弁(村長)

子育て支援として「乳幼児紙おむつ給付」、「出産祝金給付」、「乳幼児・妊産婦医療助成」の各事業、また高齢者対策として「施設入所福祉対策」、「一般高齢者支援」、「在宅介護お助け事業」、「除雪支援」を計画している。

復興予算については保健センター太陽光発電や農地除染対策、米の全袋検査推進事業、村営住宅整備事業など11事業に約5億4千万円、1次補正では瞬時警報システムや村道路面調査に4千万円を計上している。

再質問

東京農大と連携したキャンパスの誘致、用地の造成、実習用山林などどのように進めるのか。

答弁(村長)

実習の田畑は今のままでよい。



研究成果が期待される大学研究棟

再質問

修明鮫川校を卒業した若者が鮫川村で学んだ実績を残せる環境整備が必要ではないか。

答弁(村長)

地元企業にも雇用をお願いしたいと考える。

再質問

一人暮らしや高齢者のみの集落が急速に増加しつつあり、維持困難な集落も見込まれる。組の再編も必要ではないか。

答弁(村長)

集落の景観の維持活動においても高齢化が影響している。今後はシルバーさんの力を借りる等の対策が必要と考える。

再質問

村営住宅の入居待機者はあるのか。

答弁(地域整備課長)

新しい広畑団地に7戸入居したが、まだ4組が入居を待っている。

問 大豆買い入れ見直しとイノシシの被害は

答 作付け面積は7ヘクタール、緑肥作物で連作障害を防ぐ。イノシシ駆除は駆除隊の協力を得る

質問

大豆栽培の説明会を開催されたようだが、その内容と今後の基本的な考え方、イノシシによる被害状況と取り組みについて伺う。

答弁(村長)

平成24年度は約27.9トンの集荷があつたが、連作障害で小粒化や紫斑病が目立った。今後は緑肥作物(エンバク)の種子を配付し土壌改良をし、連作障害の予防を図るように説明した。

イノシシの被害は41件、被害面積は595アール。駆除期間、狩猟期間あわせて115頭を捕獲した。

再質問

23年度と24年度は検査体制が変わり、値段が落ち込んでいると聞く。耕作者も減り、意識の低下が心配される。

答弁(村長)

政権交代があり、戸別所得補償制度が水田だけから畑作も対象となった。穀物は農林水産省の資格をもった人の検査を経て所得補償を受けた。決して価格は下げではなく、生産者の手取りは増えている。

再質問

イノシシ捕獲に対しての補助金は、昨年8月に捕獲し申請したが、今だに受領していない方がいると聞くが。

答弁(村長)

1頭で2万円の支払いをしている。中山間直接支払金制度のからみもあり、年度未または4、5月の支払いになる場合もある。

問

飲料水確保支援事業の継続的な支援策を問う

答

共同で使用する水道施設整備費の補助制度を検討する

関根 政雄 議員



大震災後の渇きに悩む住民

質問

村内には、自家用水として湧き水や沢水に依存している家庭が50%以上もある。大震災後、緊急支援策は講じたが、その後も渇きに悩む住民が多い。飲料水確保支援事業を継続的に計画すべきと考えるが。

答弁(村長)

村の水道普及率は43.8%であり、水道施設の充実を図る必要がある。新年度は寅卯平地区の給水区域拡張工場の計画しているので、茅地区、寅卯平地区が開始されると

再質問

普及率が50%近くになる。村内の水道普及率が半数に達していないので、「飲料水確保支援事業」の整備費の補助制度を検討する。

共同整備への補助についての基本的な計画、骨子については今後打ち出されると解釈していいか。

答弁(村長)

2戸以上の水道付設の補助を考えている。期間については今後精査する。

問 新年度の教育指針について伺う

答 学校の使命は「学び」であり、それを重点施策とする

質問

幼児教育、学校教育、生涯学習の指針について次の点を伺う。

- ① 新年度の重点施策は
- ② 不登校、いじめ、体罰への対策。
- ③ 「屋外多目的スポーツ施設」の施設活用の計画は。

答弁(教育長)

- ① 児童生徒の学力を高める授業改善に努める。生涯教育は「生きがいを見つけ、いつでもどこでも共に学べる」場の提供。
- ② 講演会、児童生徒による

再質問

放射能を正しく理解する教育カリキュラムはあるか。

答 集会、道徳や学級活動の話し合い、教育相談や調査で未然防止に努める。体罰は教員と児童生徒、保護者の信頼関係の構築に努め、悩みを相談できる第三者の相談体制も整備し対応する。

③ 幼児の遊びや運動、村民のフットサル、ゲートボール、ブランドゴルフ等にご利用できるように整備する。

答弁(教育長)

設計は進んではない。体協、スポーツ関係者の意見を十分聞き取る。

再質問

屋内運動場の設計の進捗状況、施設活用については総合的な関係者の意見を聴き慎重に議論をすべきではないか。

問 先進地視察や自主的研修への経費負担支援について伺う

答 振興計画の策定に合わせて支援策を検討する

質問

村民が所属する団体や職員の自発的かつ意欲的な計画に基づく先進地視察や研修会、セミナーな

どへの参加への経費負担をし、今後の「人づくり」や「人材育成」への支援策を講じるべきと考えるが。

答弁(村長)

本村が将来に渡り自立していくためには、村を支える人材育成が最も大切である。意欲のある村民や職員が有意義な研修をすることは必要である。財源の問題もあるもので、多方面から検討し公平性を欠かないような支援策を検討する。

るか。また小学校の統合問題に取り組む姿勢はあるか。

答弁(教育長)

放射能は外部講師を招き授業を継続する。統合問題は地域の皆様の理解を得ていく。



前田 武久 議員

問 図書館の工事の状況、開館について伺う

答 工期は3月末日、図書の移動後に4月中旬に開館を予定している

質問

- ① 改築工事が契約どおり履行されたか伺う。
- ② 完成引き渡しは3月と昨年12月の一般質問で答弁したが、相違はないか。また図書館の移動準備にどのように関わっているか。
- ③ 4月開館に変更はないか。

答弁(村長)

図書館の災害復旧工事は、請負額について181万円の増額、工期を3月29日まで延長することで提案している。内容は床材の変更、移動書架の整備における変更、支障電線の撤去に不測の日数を要し、解体に着手できなかったのが要因である。

答弁(教育長)

工事終了後、書籍の移動は2週間の期間がかかる。4月1日から2週間程度図書の貸し出しを中止し、開館はその後となる予定である。

再質問

入札執行日、工期について尋ねる。また管理者は誰か。工期延長になった理由は。

答弁(教育長)

工期は当初2月28日であり、変更して3月29日である。入札執行日は9月26日である。設計管理者は辺見美津夫設計事務所である。

答弁(村長)

延期の理由は解体の大型重機の手配、電話回線の撤去、大雪の除雪優先が遅延の理由であり理解いただきたい。

再質問

村長は12月の定例会にて工期内に完成するように指導すると言った。業者

の指導協議はしたのか。

答弁(村長)

職員も私も再三指導はしている。

再質問

開館はいつか。

答弁(村長)

書籍の移動があるので予定は4月中旬の予定である。

※(再質問の続き・詳細については議案録を参照)



災害復旧工事が完了した村図書館

問 公共施設「さざり荘」の休日を検討すべき

答 検討課題やニーズを把握し、サービスの向上に向け協議する

質問

年に一度の数日の正月休暇。日常の疲れを癒すために自分達のためにつくられた温泉保養施設「さざり荘」に行ってみると休館。村民は勿論、村への帰省客も啞然とし、諦めきれずに村外の公営温泉まで足を運んだという。多くの村民から「不満や改善策」が寄せられているが、公共施設に対する見解を尋ねる。

答弁(村長)

旧さざり荘は正月休みを6日間としていたが、新さざり荘は5日間とした。正月は家族団らんする利用者がいると判断し1月4日まで休館した。予想以上に利用者が多く休館したことは申し訳なく思う。早期に社会福祉協議会と協議する。

再質問

村長は指定管理者でもあり、社会福祉協議会長でもある。運営を委託されている施設長、従業員、

職員のものなのか、施設は誰のためのものなのか確認する。

答弁(村長)

さざり荘は利用者の皆様方のものである。ただ施設で働いている職員もそれぞれ家庭がある。正月の団らんの時間も欲しいのではないかと配慮した。不自由があれば理解を得ながら相談したい。

再質問

他の公営施設の運営状況を把握しているのか。

答弁(村長)

他町村の施設を参考にした結果であるが、営業日については十分検討する。

第2回 臨時議会

地方交付税・特別交付税8122万8千円・
震災復興特別交付税338万7千円追加
一般会計7537万6千円追加可決

第2回臨時議会は、3月28日開催され、平成24年度補正予算8件、公の施設の指定管理者の指定1件、区長及び副区長の選任につき同意を求め、1件の10議案が提案され、全ての議案が原案のとおり全会一致で可決した。また議員発議の建設工事調査特別委員会の設置も可決された。

第2回臨時議会は、3月28日開催され、平成24年度補正予算8件、公の施設の指定管理者の指定1件、区長及び副区長の選任につき同意を求め、1件の10議案が提案され、全ての議案が原案のとおり全会一致で可決した。また議員発議の建設工事調査特別委員会の設置も可決された。

補正予算 一般会計(第9号)

平成24年度一般会計補正予算は、歳入、歳出とも7537万6千円を増額し、予算総額を37億5808万5千円とした。

主な歳入補正

- 村税
 - ・村民税(個人・法人) 2569万3千円追加
 - ・固定資産税 156万1千円減額
- 地方交付税
 - ・特別交付税 8122万8千円追加
 - ・震災復興特別交付税 338万7千円追加
- 村債
 - 2020万円減額

主な歳出補正

- 財産管理費積立金(財政調整基金)
 - 1億636万8千円追加
- 県南地域給付金給付事業費(地域給付金給付事業交付金)
 - 770万円減額
- 社会福祉総務費繰り出し金(国民健康保険特別会計繰り出し金)
 - 1980万円追加
- 環境衛生費
 - ・住宅用地除染業務 829万7千円減額
 - ・木の葉回収業務 105万4千円減額
- 農村交流施設費(交流施設特別会計)
 - 123万5千円追加

その他

- 公の施設の指定管理者の指定
 - 鯨川村鹿角平観光牧場 有限会社鹿角平観光センター代表取締役 舟木 正二
- 人事案件・同意可決
 - ▼区長及び副区長の選任に同意を求めること

●区長

- 赤坂西野区 矢吹 俊次
- 西山 関根 貢
- 赤坂中野区 岡部 啓一
- 赤坂東野石井草区 佐川 一郎
- 富田区 松本 恵治
- 渡瀬区 藤田 義人
- 青生野区 白石 政敏

●副区長

- 赤坂西野区 白坂 勝徳
- 西山 本郷 弘義
- 赤坂中野区 金澤 一四
- 赤坂東野石井草区 森 洋
- 富田区 渡瀬 芳賀
- 青生野区 岡部 照夫
- 青戸 禎美
- 精治

会 計 別			補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計			7537万6千円増	37億5808万5千円
特 別 会 計	国保	事業勘定	1980万円増	5億1895万5千円
		直診勘定	12万円減	7529万円
	簡 易 水 道	38万1千円減	1億625万9千円	
	村 営 バ ス	33万4千円減	1113万4千円	
	集 落 排 水	4万4千円減	3135万4千円	
	交 流 施 設	22万5千円減	1591万8千円	
	学 校 給 食	50万7千円減	1億2134万4千円	
	合 計			9356万5千円減

賛成6 反対3 賛成多数で

建設工事調査特別委員会を設置



公営住宅の現況を調査(広畑地内)

3月25日に開催された、臨時議会において前田武久議員から「建設工事特別委員会設置」について※動議が出され、4名の議員の賛同を得て、議員発議として提案されました。

※動議Ⅱ会議の進行中に議員から発議する議題。動議が取り上げられるには他に1名以上の賛成者がなくてはならない。

提案理由

前田 武久議員

本村の24年度工事分を含め、今後25年度・26年度分にかんがりの公共建設工事が計画されると思う。議案調査で、広畑地内の公営住宅建設の状況を見た。その際素人が見ても、腑に落ちない工事箇所が多数指摘された。これらの箇所は引き渡し前に工事の修正後、我々議員にもう一度確

認を要請していたところである。再度調査をしたが納得がいかない箇所が多く見受けられる。また図書館の問題も山積している。これからの工事に関しても、公的な委員会を設けて設計内容、管理内容、執行状況を精査して適正な監視をしていく必要がある、設置の提案理由とする。

反対討論

関根 政雄議員

公営住宅建設については議案調査にて指摘した路盤については既に手直し工事が済んでいる。また、村と設計者の支援機構、建設事務所の検査で工事の適正が認められている。さら

に担当課は再度調査報告をするとしている。調査特別委員会の設置は目的や調査内容など明確にし、全員協議会などで慎重に協議してから判断すべきであり、設置には反対する。

賛成討論

星 一彌議員

広畑の公営住宅に限って設置する目的ではない。3月末までに特別委員会を設置しないと、24年度の事業を見直すことができない。調査した公営住宅は修理されている部分は確かにあるが、路盤から土台に水

が入ってくる勾配になっている。コンクリートの基礎であろうと、水を引き寄せる勾配ではいかなるものか。それらを踏まえ、調査委員会を設置することに賛成する。

賛成者 6名

前田 武久議員
星 一彌議員
坂本 忠雄議員
早川 正博議員
蛭田 武彦議員
前田 雅秀議員

反対者 3名

関根 政雄議員
宗田 雅之議員
岡部 明議員

建設工事調査特別委員会

委員長 前田 武久
副委員長 星 一彌
委員 議長除く全議員
調査期間は2年間

※特別委員会の設置は議会の議決が必要であり、調査が終了後に委員会報告書を議長に提出し、報告することとされています。

ふるさと 鮫川への想い シリーズ⑧ アイデン ティティ

俳優や歌手の仕事は人を感動させるという意味です。素晴らしい仕事だと思います。同じく、人を強く感動させるものにスポーツがあります。しかし俳優や歌手の仕事と違って、スポーツには台本がありません。その中で筋骨きのないドラマを作ってしまうスポーツ選手は、純粹にカッコいいなと幼い時から憧れがありました。

高校時代に運命的な出会いがあり、それまで続けていた硬式野球を一年で辞め、高校二年から自転車競技に打ち込みました。当時の自転車部は全国で

も有数の強豪校で、練習内容も高校生の部活動としては常軌を逸していました。

登校前、毎朝5時から七時三十分までの早朝練習で疲労は困憊。練習後に通った学校生活の思い出といえば、一限目から毎日、伏して寝ていた記憶があります。学業の成績はみるみる下降しましたが、それでも毎朝四時前に弁当を持たしてくれた母親と、送り迎えも多かった父親には今でも本当に感謝しています。

高校卒業後は競輪選手としてのプロテストに合格するまで3年を要しましたが、合格したときの喜びと感謝を忘れたことはありません。

プロスポーツの世界は華やかに見えますが、実際はその裏で、いつ訪れるかわからないチャンス“のために、練習に励

み、様々な努力を重ねたりの連続です。どんな一流選手でもおごらずに競技に取り組んでいます。

僕自身もプロテストに合格する前のアマチュア時代から含めて5年間、後にアテネオリンピックでシルバードメダルを獲得する先輩選手のパートナーとして迎え入れていただきました。妥協せずに頑張っている姿を見せられて、常に刺激を受けていたのを覚えています。

先輩とはプライベートでも仲がよく、先輩後輩という垣根を越えて一人の人間として付き合ってみると、彼の強い部分だけでなく、弱い部分も見えてくる。さらに人間らしい一面が見えて近親感がわく。でも競技場を走るとオーラを感じます。ルックスだけでなく実力を兼ね備えた選手だからこそ、多くの

ファンを魅了できるのだと思います。

僕自信も自分の仲に宿る「鮫川の自然や仲間」によって構築された「アイデンティティ」を胸に、より一層の輝きでファンの皆様を魅了できるように日々精進していく次第です。「キノコと人材は山から育つ」と言われるように...



多くの仲間に支えられて活躍する遠藤選手(中央)

「ご寄稿、ご提言やご感想をお寄せください」

「故郷への想い」への寄稿をお願いできる鮫川村出身の方を募集しています。全国にて活躍している方を是非ご紹介ください。また議会だよりや議会運営に対してのご意見や感想もお寄せください。

(詳しくは議会事務局49-3198まで)

議会傍聴について

今回の定例会は6月初旬です。また「議会改革特別委員会」も公開していますので、村民の皆様の傍聴が可能です。

編集後記

新緑が眩しい季節となりました。水田には青葉と空が映り、農作業にも活気が満ちています。村の中心に位置する「館山」の山頂からは三方に広がる家並みを見渡すことができます。また山並みの彼方にも見えない集落、そして村人、多くあり...

村議会が村民のための議会、分かりやすい議会を目標に、村全域や将来を見据えて活動を推進します。新年度もご指導をお願いします。

(編集委員)



プロ競輪選手
遠藤 貴人さん
(郡山市在住)

【プロフィール】

- 出身地：大字渡瀬中野町に生まれる
- 平成8年 白河高校入学
- 平成10年 全国高校総体(インターハイ)総合優勝
神奈川国体 総合優勝
- 平成11年 白河高校卒業
- 平成14年 日本競輪学校入学
- 平成15年 日本競輪学校卒業
青森競輪場にて同年7月にデビュー
- 平成17年 A級初優勝(西武園競輪場)
- 平成19年 S級昇格
- 平成19年 記念競輪初勝利
- 平成24年 通算100勝達成

- 【趣味】 テレマックスキー、ゴルフ
- 【家族】 父、母の3人家族

